

7・24「納涼おしゃべり会」は大盛況

7月24日（日）、いきいき・クリニック腎友会発案の「納涼おしゃべり会」が開かれました。腎友会未加入の患者様やご家族の方を含めスタッフを合わせると33名の参加があり、会場をクリニックの会議室からいきいきプラザ（公的施設）に移しての実施となりました。

島根県腎友会会長の稲田さんが、ご自身による35年の透析生活の経験から元気のこつと笑い療法を紹介してくださいました。

いきいき・クリニック横木院長の、透析の基本についてやDWやHD条件に関する話の途中では、「透析時間が短い方が身体が楽だが・・・」と会場から積極的な質問が飛び出す場面も。

勉強タイムの後はお弁当を食べながらの歓談タイム。

「私は、透析時間が長い方が身体にいいので5時間半してもらってますよ。」

「DWを下げると痩せると思っていたけど、ちがうんだね。」

曜日が違って普段会うことのない患者様のご自身の治療に対する日頃の思いなどを交流し、

「このお弁当のサケは塩が辛いけどいいの？」

「煮物はうちの方がうす味だわ。」

と、食事をしながら和やかにおしゃべり会を楽しみました。



参加された患者様からのご感想

いきいき．クリニック腎友会はじめての納涼おしゃべり会に参加しました。

県腎友会の会長さんはどんな方なのかなと思いましたが若くてびっくりしました。

昔の透析は大変だった様で私が導入した時期は機械の性能も良く、また金銭的にも恵まれていたので昔は大変だった事がわかり勉強になりました。

おしゃべり会で悩みを言い合ったりして少しはストレス発散にもなる様に思いました。

私も透析中はスタッフの方々と話をして楽しく過ごしています。やさしい方々ばかりなので有難く思っています。また友達と会ったりしておしゃべりをして楽しく過ごせる様にと思っています。

〇さん